

第3回 居住福祉人材養成講座

～ 中山間地に求められる人材を育てるには～

【主旨】 日本福祉大学ではCOE（文部科学省による重点研究拠点形成費等補助金）による研究活動として中山間地における「居住福祉人材養成講座」を開催してきた。今後の日本の地域福祉を展望するときに中山間地における地域福祉のあり方、とりわけそれを担う人材養成は急務の課題であり極めて重要なテーマであると考えられる。本研修講座はそうした中山間地の集落維持や生活支援のあり方といった現状と課題を踏まえながら、地域のニーズに即した居住福祉人材養成のプログラム開発を目的とする。高知県の嶺北地方は豊かな文化と自然の頂の中で先駆的な地域福祉を推進している。当地の地域福祉実践に学びながら、課題解決に向けたプログラムについて検討していく。

【主催】 日本福祉大学COE推進本部

【共催】 特定非営利活動法人 れいほく活性化機構

【後援】 土佐町、本山町、大豊町、大川村
土佐町社会福祉協議会、本山町社会福祉協議会、大豊町社会福祉協議会、
大川村社会福祉協議会（以上、依頼中）

【日時】 平成18年3月4日（土）～5日（日）

【会場】 土佐町農村環境改善センター 〒781-3521 土佐町田井1450番地

【対象】 嶺北地域の医療、保健、福祉、教育の関係者、行政、社会福祉協議会、施設、関係機関等の職員、民生委員・児童委員、ボランティア・市民活動の実践者、学校教育・生涯学習の関係者など

【参加費】 資料代 500円
弁当代 500円（3月5日受付で注文を承ります）
情報交換会 4500円（3月4日 参加希望者のみ）
さめうら荘 土佐町田井182番地

【参加申し込み】

特定非営利活動法人 れいほく活性化機構 事務局

〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山995

Tel/Fax.0887-70-2301

E-mail r-npo@blue.ocn.ne.jp URL <http://www.reihoku.jp/>

【プログラム】

- 3月4日 11:00 嶺北地方の視察
14:00 受付
14:30 合同研究会「れいほくの地域福祉実践の現状と課題」
研究報告 「中山間地域にみられる地域福祉の課題」
日本福祉大学 小松理佐子
実践報告 とんからりんの家取り組み
事務局 筒井京野
どんぐりボランティアの活動
代表 筒井理浩
さわやか大豊の活動 代表 都築康代
コメンテーター 東海学園大学 丹羽啓子
コーディネーター れいほく活性化機構 山首尚子
- 18:30 情報交換会（さめうら荘）
- 3月5日 9:00 受付
- 9:30 開会式
挨拶 日本福祉大学 野口定久
れいほく活性化機構 会長 筒井敬一郎
ビデオメッセージ 「れいほくで生きる」
- 9:50 基調講演
「地域に住み続けるという居住福祉の視点」
日本福祉大学 児玉善郎
- 10:30
- 10:40 ワークショップ
- (第1分科会) 「住民活動の調整力」 東海学園大学 丹羽啓子
ボランティアやNPO、地域のさまざまな団体・組織を地域福祉推進ためにコーディネートしていく力をつける。
- (第2分科会) 「地域福祉の運営力」 愛知新城大谷大学 内山治夫
行政や社協、NPO法人などが自立的な組織経営を図りながら、地域福祉をアドミニストレーション(運営管理)する力をつける。
- (第3分科会) 「地域福祉の企画力」 日本福祉大学 野口定久
地域福祉計画の策定をはじめ、地域福祉実践をプランニングしていくために必要な企画力をつける。
- (第4分科会) 「自立生活の支援力」 日本福祉大学 小松理佐子
中山間地ではインフォーマルケアの役割が大きい。近隣を中心として可能な支援のあり方、専門職につなげていく力をつける。
- (特別分科会) 「福祉課題の学習力」 日本福祉大学 原田正樹
地域福祉について住民が主体となって学習していくこと。学齢期からの生涯学習の視点から福祉教育の展開について考える。
- 14:30 全体会
総括講演 「中山間地域に求められる福祉人材養成」
日本福祉大学 野口定久
- 15:20 閉会